

1 上下水道局平成28年度の予算編成について

(1) 基本的な考え方

水道料金については、平成22年度から平成26年度までの5年間の平均で約6億円(税抜)、下水道使用料については、同期間の平均で約3億円(税抜)の減少となっており、今後もこの傾向は継続していくものと考えられます。

一方、水道事業、下水道事業ともに創設以来100年以上が経過しており、施設の老朽化対策や地震対策、また、緊急雨水整備事業をはじめとする浸水対策など、早急に取り組むべき課題が山積しています。

このように上下水道事業を取り巻く経営環境は非常に厳しいものがありますが、引き続き行財政改革をすすめて経営基盤の強化に努めます。

(2) 主要事業

①水道基幹施設の更新および耐震化(水道事業)

80年以上経過し耐震性の低い犬山系導水路A管や東山配水場配水池の更新をはじめ、老朽化した浄水場や配水場などの施設を整備改良し、おいしい水を安定的に供給するとともに、地震等災害に対する安全性の向上をはかります。

②配水管の更新および耐震化(水道事業)

老朽化した配水管の布設替および耐震化をはかります。また、地震対策の優先度をふまえ、災害時において給水を必要とする避難所までの配水管を平成32年度までに耐震化します。

③下水道基幹施設の改築および耐震化(下水道事業)

露橋水処理センターの改築をはじめ、基幹施設の改築にあわせて耐震化をすすめます。また、老朽化した電気・機械設備の改築をすすめて、安定した下水処理能力や雨水排水能力を確保します。

④下水管の改築および耐震化(下水道事業)

「第8次下水管路調査改築計画」に基づき、老朽化した下水管の調査と改築を計画的に行います。

また、重要な幹線等の耐震化事業を継続します。

⑤浸水対策（下水道事業）

平成12年9月の東海豪雨や平成20年8月末豪雨などにより著しい浸水被害が集中した地域および都市機能の集積する地域において、引き続き雨水調整池の建設等を推進します。また、その他の地域においても雨水排水ポンプの増強等をすすめます。

⑥下水道未整備地域の解消（下水道事業）

下水道未整備地域の解消のため、中川区・港区の庄内川西部地区、守山区の志段味地区および緑区の一部地区において、区画整理事業等との整合をはかりながら、引き続き下水道の整備をすすめます。

(3) 新規・拡充事項

(水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成27年度 予定額	平成28年度 予定額
1	鳴海配水場3号配水池の耐震補強	施設の耐震性を確保するため、耐震補強を実施	—	717
2	避難所へ至る配水管の耐震化	地震対策の優先度をふまえ、災害時に給水を必要とする避難所までの配水管を平成32年度までに耐震化	—	640

(下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成27年度 予定額	平成28年度 予定額
3	空見スラッジリサイクルセンター第2期施設の整備	老朽化の進んでいる山崎汚泥処理場の代替施設として、空見スラッジリサイクルセンターの第2期施設を整備	—	100
4	下水本管の改築	下水本管の改築事業の推進	5,450	6,662
5	名城水処理センターにおける簡易処理高度化施設の整備	名城水処理センターにおける雨天時の簡易処理水質を向上させるため、簡易処理高度化施設を整備	—	154

(4) 平成28年度水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	給 水 収 益	45,022	45,699	△ 677
	そ の 他	4,429	4,195	234
	計 (A)	49,451	49,894	△ 443
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	26,283 (9,453)	27,253 (9,398)	△ 970 (55)
	資 本 費	20,136	20,111	25
	消 費 税 等	2,339	2,372	△ 33
	計 (B)	48,758	49,736	△ 978
A - B		693	158	535

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	3,500	4,000	△ 500
	出 資 金	152	193	△ 41
	そ の 他	2,202	2,330	△ 128
	計 (A)	5,854	6,523	△ 669
支 出	建 設 改 良 費	18,359	18,484	△ 125
	企 業 債 償 還 金	5,547	5,266	281
	そ の 他	1,525	1,755	△ 230
	計 (B)	25,431	25,505	△ 74
A - B		△ 19,577	△ 18,982	△ 595

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(5) 平成28年度工業用水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	給 水 収 益	855	848	7
	そ の 他	149	139	10
	計 (A)	1,004	987	17
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	346 (25)	343 (25)	3 (-)
	資 本 費	612	599	13
	消 費 税 等	41	40	1
	計 (B)	999	982	17
A - B		5	5	-

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	出 資 金	2	2	-
	そ の 他	35	11	24
	計 (A)	37	13	24
支 出	建 設 改 良 費	432	492	△ 60
	企 業 債 償 還 金	3	5	△ 2
	そ の 他	134	134	-
	計 (B)	569	631	△ 62
A - B		△ 532	△ 618	86

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(6) 平成28年度下水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	下水道使用料	33,241	33,428	△ 187
	一般会計負担金	35,075	36,095	△ 1,020
	そ の 他	6,319	5,810	509
	計 (A)	74,635	75,333	△ 698
支 出	維持管理費 (うち人件費)	25,031 (6,241)	25,103 (6,270)	△ 72 (△ 29)
	資 本 費	47,296	48,157	△ 861
	消 費 税 等	1,791	1,971	△ 180
	計 (B)	74,118	75,231	△ 1,113
A - B		517	102	415

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	18,000	20,000	△ 2,000
	国庫補助金	10,307	8,814	1,493
	そ の 他	838	987	△ 149
	計 (A)	29,145	29,801	△ 656
支 出	建設改良費	38,104	39,237	△ 1,133
	企業債償還金	29,270	30,267	△ 997
	そ の 他	37	51	△ 14
	計 (B)	67,411	69,555	△ 2,144
A - B		△ 38,266	△ 39,754	1,488

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。